

石井好子

シャンソンリサイタル

伴奏

寺島尚彦と

リズムシャンソネット

プログラム

- リラの花咲く頃
- ブルー・ブラン・ブロン
- 初めて出会ったあの日
- 映画音楽メドレー
- (幸せがいっぱい)
- (日曜はいやよ)
- (他楽団演奏)
- 赤い猫・黒い猫
- 夜の子守唄
- 麦わら帽子

かも知れないのうた

アヴィニヨンの橋の上で

粉ひきのお寝坊さん

日本語のおけいこ

(楽譜・詞・訳)



石井好子さん

石井さんは東京芸大音楽科で勉強し、この時代に今のしつかりしたメソッド・ピアノの基礎がつくられました。芸大卒業後しばらくの間女学校の先生をしていましたが、戦後音楽界に転向し歌手として出発いたしました。1950年8月に、戦後の声楽家としては初めての留学生として渡米、サンフランシスコの音楽学校でジャズやタップ・ダンスなどを勉強したのち1951年にフランスに渡りました。パリの空気を吸った石井さんはシャンソンの道にすすむことをきめ、本格的なシャンソンの勉強をはじめました。そしてシャンソン歌手の登竜門といわれるドービルのコンクールに入賞し、パリを中心にスペイン、イタリア、ドイツなどのステージで活躍しました。3年間のフランス滞在ののち1954年に帰国しましたが、このあと1955年から2年間、1957年からの1年間と合計3度の外遊をした彼女はフランスでも異色のシャンソネット・シャルムとして知られており、国際的なシャンソン歌手です。

リズム・シャンソ

昭和31年10月福本泰子リサイタルその他種々のステージを経以来、ドライな編成でウエット重ね一方NHKの「真昼のリズフルート、弦を随時加えてシャンソネット」の発表、銀座山葉ホールの中には日本、世界のフォーメ日本の新しい唄の発表、演奏